

令和8年度 水道クリプトスポリジウム試験法に係る技術研修 実施要綱

1. 研修の目的

水道原水等の水質検査を担当している地方公共団体職員が、水中に存在するクリプトスポリジウムオーシスト等を検出するための試験方法及び水道におけるクリプトスポリジウム等の対策に関する専門的知識を習得するとともに、研修生間の交流を通じて、相互の啓発及びネットワークの形成を図ることを目的とする。

2. 期間および会場

(1) 期間

令和8年11月9日(月)から11月20日(金)まで

※期間中は受講者全員合宿制となります。

(2) 集合研修会場 環境調査研修所

所在地：〒359-0042 埼玉県所沢市並木 3-3

電話：04 (2994) 9766 (教務課直通)

3. 教科内容

別紙のとおりとする。

4. 定員

12名

5. 研修を受ける資格

次の各号のいずれにも該当するものとする。

- (1) 地方公共団体(地方衛生研究所、保健所、水道事業者等)において、クリプトスポリジウム等検査業務を含む3年以上の微生物検査業務の実務経験を有し、かつ、クリプトスポリジウム等の寄生性原虫類とその試験法に関する基礎知識を有する者。
- (2) 研修受講に支障のない健康状態にある者。
- (3) 所属長の推薦を受けた者。

6. 研修生の推薦方法

研修生を推薦する場合は、別紙様式による「被推薦者名簿」及び別添2の「実務経験調書」を添えて、**令和8年8月7日(金)まで**に環境調査研修所にメールにて提出すること。

【提出先】教務課：KYOMU_KA@env.go.jp (メール)

7. 研修生の決定

環境調査研修所所長は、5. の受講資格等による書類選考を行い受講の可否を決定すること及び6. の推薦に基づいて研修生を決定のうえ、推薦者にその旨を通知する。

8. 修了証書の交付

- ・受講の状態（修了または未修了）については、研修終了後おおよそ2週間で所属長に通知する。
なお、所定の課程（原則として1割以上欠課した者を除く。）を受講した場合に修了とする。
- ・修了した場合修了証書（電子データ）を交付する。

9. 経費

往復に必要な旅費及び滞在費は所属長の負担とする。

※ただし、環境省の職員については、環境調査研修所から支給する。

10. 日程について

「(別添3) R8 水道クリプトスポリジウム試験法に係る技術研修_日程表」のとおり。

* 次の情報を環境調査研修所ホームページ（URL <https://neti.env.go.jp/train/guidebook.html>）に掲載しておりますので御参照ください。

◎ 「研修受講ガイドブック」

（研修受講に当たっての留意事項に関する情報を掲載しております。）

○ 教科内容

1. 講義	10. 1
2. 実習	51. 0
3. その他（開講式、閉講式、オリエンテーション）	1. 0
合計	62. 1時間

○ 実習内容

実習項目	目的及び方法	実習内容の概要
水中のクリプトスポリジウム等	水中に存在するクリプトスポリジウムオーシスト及びジアリジアシストを検出するための試験方法の習得	1. デモンストレーション 2. 濃縮分離方法 3. 蛍光染色・標本の顕微鏡観察 4. 微分干渉顕微鏡観察 5. 添加回収試験 6. 遺伝子検査法 7. 作成標本の評価

(注)

- 都合により一部内容を変更することがあります。
- 開講式は13:00より行う予定です。12:30までに入所してください。
- 最終日は12:00に終了する予定ですが、研修時間の延長等により若干遅れる場合があります。
- 帰路の航空機、列車の時間等により講義等や閉講式を欠席することは認めません。
- 本研修の研修員はノートパソコンの持参をお願いいたします。

○スペック

- ・Wi-Fiに接続可能であること
- ・Windows 11、メモリ 8 GB 以上（推奨 16 GB 以上）
- ・事前にフリーの画像編集ソフト IrfanView (<https://www.irfanview.com/>) のインストールをお願いいたします。

○用途

顕微鏡観察や添加回収試験で撮影したクリプトスポリジウム及びジアリジアの画像を、検出の報告として提示するための画像編集に使用。

- 研修期間中は、希望者に対し業者による弁当の提供を行います。朝食及び昼食の2食セットとし、価格は970円を予定しています。朝食のみ又は昼食のみの提供は行いません。